



# 公民館等職員研修

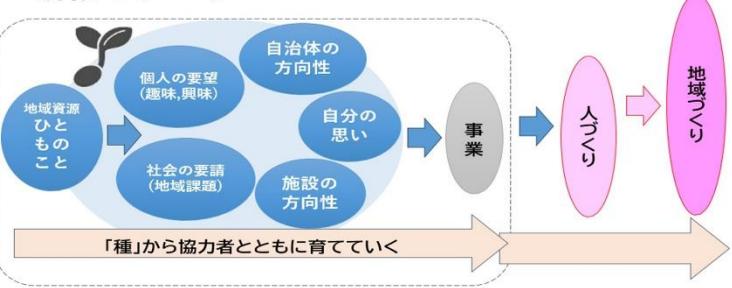
～「種」から住民とともに育てる事業を通した人づくり～ R6. 11. 27(水):江津少年自然の家

6回  
シリーズ

## 研修のねらい

- ①「自分の地域のために自分たちで行動しよう」という思いの人を増やしていく⇒地域住民の主体性を高める⇒人づくり
- ②企画・立案力、プレゼン力、コミュニケーション力をさらに高める。

## 研修イメージ



## 第5回「実践発表交流会」



## どんな人の主体性を高めるのか？

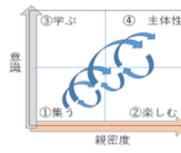
事業の連携先や地域住民=協力者

## どうやって育てる？

事業の中で意図的なかかわりを行う



## 意図的なかかわりとは？



### ◎当センターの仮説

「意識と親密度を高めれば、主体性が高まるだろう」

### ◎この研修の肝

・地域住民をどう事業に巻き込むか

・地域住民にどう楽しんでもらい、どのように学んでもらうことで、主体性を高めていけるか

- △偶然
- △動かない
- △押し付け
- ◎計画的
- ◎仕掛ける
- ◎さりげなく

## 【実践発表】



発表のここに注目！

その1 巻き込み方 ①集う	その2 主体性の高め方 ②楽しむ③学ぶ	その3 協力者の変容 ④主体性
---------------------	---------------------------	-----------------------



## ● お月見どろぼう ●

「お月見どろぼう」とは、子どもたちが満月の夜地域にでかけお供え物をもって歩くイベントをいう。数年前に行われていたものを、センター主催から若手部へその役割を委任する。この事業で若手部の活動の周知、活性化を図りたいねらいがあった。

会議では、話しやすい雰囲気をつくるため、雑談から始めたり、適度な距離を保つ机の配置を工夫したりした。また、会議の内容はホワイトボードで共有し、最後に写真にとり議事録とした。

若手部の他に、地域住民や読み聞かせの会、保育所、運営推進委員会なども協力者に。やってみたいこと、楽しそうなこと、子どもたちへの思いを出してもらった結果、自発的な動きがうまれた。

参加者へのアンケートは、答えやすいようにシールを活用した。全員が「楽しかった」と答えてくれた上に、「これだけの子どもや保護者が集まることなく、年齢の違う保護者とも交流でき良かった」という感想も寄せられた。スタッフへのアンケートからは、計画段階から当日まで楽しんで動いたことが伺えた。感想には、無理せず参加できたことや、次へのアイデアも寄せられた。

若手部には新たなメンバーが加わり、今後の企画も持ち上がったことから、この事業が活動の足掛かりにつながったと思う。



発表前のひと時

他会場の発表の様子

## ★ 土曜夜市 with 南高台夏祭り ★

昨年、若者からの提案で30年ぶりに復活した土曜夜市。今年もこの事業を実施することで、まちづくり推進委員会の事業としての定着、南高台に住む若者をまちづくりに、中学生が考えた地域活性化案を実現することにつなげたいねらいがあった。

しかし、実行委員を募集しても手を挙げる人がいなかった。そこで、日頃からセンターに来られる企画やパソコンに強いFさんを説得し協力者に。またまちづくり推進委員会からもメンバーを推薦してもらった。役割分担を明確にし、負担の軽減に努め、昨年より会議の回数を減らした。

準備の段階で思わぬことや大変なこともあったが、祭り終了後のアンケートから協力者が楽しんでくれたこと、やりがいを感じてくれたことが伺えた。急遽階段を製作した人、来年のために会場図を残してくれた人もいた。中学生が考えたキャラクターとシンボルマークを塗り絵やシールにしたことで、中学生の主体性がアップし、今回関わったことで「いい経験をした」という感想も聞かれた。願っていた姿に近づけたのではないかと。半面、厳しい声もあったので、これを生かし来年につなげていきたい。

自分のスキルも高めつつ、「主役は住民」を大事にしていきたい。

## 参加者からの感想（視点に対して、参考にしたい事・良いなと思ったこと等）

- ・事業の目的が明確で、人づくり、つながりづくりになっている。
- ・「やりたいこと」を大切にすること。
- ・子どもたちへの非日常の提供がよい。
- ・参加者のふり返りアンケートのやり方、シールを貼る。
- ・会議の工夫（ホワイトボードで意見の共有、それを写真にとり議事録に。机の配置）
- ・若者の考えを否定しない。若手部のやりたいことを無理なくやらしてもらえ、スタンスが素晴らしい。
- ・保育所からの呼びかけに耳を傾け、前向きに進める意力。
- ・会議（対話・協議）も楽しむ、準備も楽しむ、当日も楽しむ。・事業の組み立てがすばらしい

## 参加者からの感想（視点に対して、参考にしたい事・良いなと思ったこと等）

- ・願う姿にあったように、やりがいを感じた人が中学生から大人まで多くおられた。主役は住民
- ・人づくりの視点を忘れていない。
- ・若者のやりたいことを大切にしている。
- ・立体的な展示パネル、参考になりました。
- ・改善点を明らかにし、次年度に生かそうとしている。
- ・飲み会→若者からの提案→実現（とても理想的ですね）
- ・中学生の考えたロゴマークを商品に貼るのはとても良い。
- ・人間関係が強味と言えるのが凄い！

## 【意見交流】「伝えよう わたしの実践あなたの実践！」 フリップトーク

## 【閉会行事】

### ①アイスブレイク（ジャンケン セブン）

### ②問1「今日の発表で印象に残った取組は？」

### ③問2「これまでの自分の実践で、1番人に伝えたい実践は？」



修了証授与

これまでのふり返って

## 【東西受講者アンケートから】（一部抜粋）

- ・準備8割とはよく言ったもので、もう少し事前準備、練習などをすれば良かったと感じたが、なんとか最後までやりきることが出来て良かった。
- ・とても緊張したが、発表が終わり安心した。今後この経験を生かし事業を進めていきたい。
- ・緊張はしたけれど、今まで一緒に頑張ってきた仲間がいたので、心強かった。頑張りました。
- ・この研修がなかったら、やりたいなということも心の中で思うだけで終わっていたので、やって良かった。事業継承できるよう頑張ります。他の方の発表も、発想だけでなく発表の仕方も参考になった。
- ・発表に対し、付箋でたくさんの応援や感想をいただいて、とても励みになった。楽しみながら継続していきたい。
- ・「人づくり」なんて大それた事、私にできるのか…と不安でいっぱいだった。私が人を集めて主体性を住民の方に持ってもらうのではなく、中心となる住民をサポートする体制を整えることで、事業が終わった時の協力者の達成感はずいぶんかと思った。意見交換で

- は、普段話することがあまりない人と話をするのが新鮮だった。一緒に研修を受講してきた仲間がみんな無事に発表を終えられて良かった。
- ・さまざまな地域で、いろいろな取組を行っておられ、とても面白い研修だと思った。自分の地域の良さも再認識できた。本日の良いエネルギーを地元を持ち帰って活用していきたい。
- ・発表者それぞれ参考にしたい部分があった。自分の考えと周りの考えが違うことがあることもあり、アンケートをとって思いを伝えてもらう方法もあることがわかった。とても良い勉強になった。今回の発表で終わらず今後も続けて活動していこうと思う。情報交換の場になって良かった。
- ・とても勉強になった。6月にZOOMでスタートし、皆さんと一緒に学ばせていただき楽しかった。発表まではとても大変だったが、お祭りも来年に向けて意欲満々です。ドキドキの5回の研修だったが、1人でスライドや内容資料を作り、本当に達成感を感じている。たくさんの方に意見やお話が聞けて良かった。楽しい1日を過ごせた。